

おいしさ・健康・幸せを創る

元気になる 食品開発セミナー

参加費
無料

 zoom
オンライン参加も可能

令和4年

1月19日(水)
13:30~15:30

山形県高度技術研究開発センター
2階 多目的ホール

基調講演

「未来食品開発へのアイデア」

講師

山形県立米沢栄養大学健康栄養学部
教授 加藤守匡氏 (医学博士)

加藤教授の研究室では、食品から摂取する栄養成分と心身の健康や運動機能の向上の関連性を中心に研究しています。

コロナウイルス感染症の拡大で、消費者の健康志向食品への関心が高まってきております。また、高齢化が一段と進む今後の社会状況を見据えて、認知機能の低下を防ぐ食品が望まれております。

近年注目されている機能性食品の開発には、どのような視点で取り組むべきなのか、そのヒントを提供できればと考えております。

事例発表

三和油脂株式会社

研究課長(R&Dセンター長)遠藤修二郎氏

三和油脂株式会社は、お米の表皮と胚芽を原料として、健康に良いとされる植物性の「こめ油」を生産している会社です。近年、消費者の健康志向食品への傾向を追い風に、出荷量を飛躍的に伸ばしております。

事例発表

ゼライス株式会社

テクニカルセンター研究開発グループ課長 山本祥子氏

ゼライス株式会社は、ゼラチン・コラーゲンの未来を拓く研究開発に積極的に取り組んでいます。機能性表示食品も開発しており、コラーゲントリペプチドでひざ関節の違和感を軽減する「ひざ年齢」シリーズを販売しています。

講演

「法律に違反しない食品機能性のPR方法と機能性表示食品開発に必要な準備」

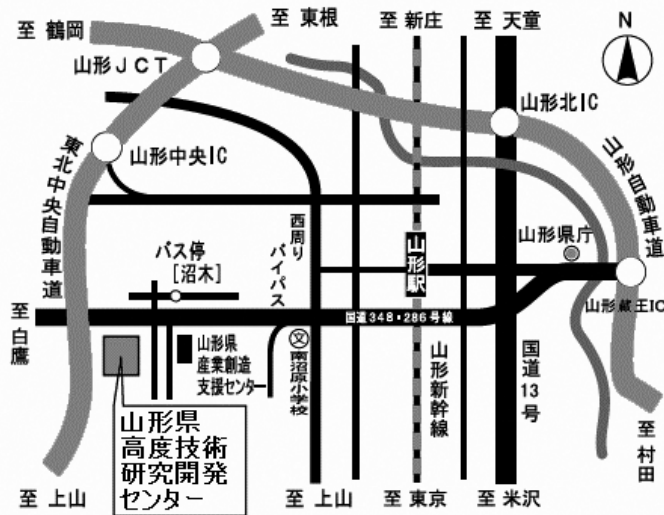
講師

株式会社薬事法マーケティング事務所
代表 渡邊憲和氏
(中継による講演となります)

株式会社薬事法マーケティング事務所は、機能性表示食品(2015年制度開始)におけるアドバイザーとして多くの大企業、中小企業に届出や広告表現に関するコンサルティングを提供しています。

広告やパッケージに機能性を掲載するのが初めての方も知っておきたい規制や罰則、食品の機能性をPRするときに使える様々な制度のメリット・デメリットをお伝えします。中でも、近年届出件数が増えている機能性表示食品について、小規模企業へのコンサルティングの事例を交えながら、期間や費用なども具体的に紹介します。

会場へのアクセス



元気になる食品開発セミナー 参加申込書

送信先 山形県産業労働部工業戦略技術振興課 ものづくり振興担当

FAX 023-630-2695

申込締切1月14日(金)

参加者	1	所属	役職	氏名	参加方法 (希望する方法に○)
	2				会場・オンライン
	3				会場・オンライン
会社名					
住所					
電話番号					
E-mail					
担当者氏名					

ホームページ(山形県電子申請サービス)からもお申込みいただけます。
https://s-kantan.jp/pref-yamagata-u/offer/offerList_detail.action?tempString=shokuhinkaihatsu1



※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ずセミナーを中止し、または、オンラインのみに切り替えて実施する場合があります。新型コロナウイルス感染予防のため、来場者各位におかれては、換気や消毒へのご理解と、マスク着用・手洗いの徹底をお願いします。